【記者発表】

平成２７年７月２１日
石　巻　専　修　大　学
あ・ら・伊達な道の駅
大　　崎　　市
国土交通省 東北地方整備局
仙台河川国道事務所

～「あ・ら・伊達な道の駅」と石巻専修大学の連携～

”東北で初めて”の連携企画を実施します。

大学と「道の駅」の交流・連携の一環として、石巻専修大学と道の駅「あ・ら・伊達な道の駅」及び大崎市、仙台河川国道事務所の４者で連携企画型の実習を実施することになりましたのでお知らせいたします。

この取り組みは、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するとともに、「道の駅」が地域活性化の拠点を目指して進化を遂げるため、「道の駅」と大学がお互いのニーズを確認し、付加価値を創出する企画・立案等を実施するもので、東北で初めての取組みとなります。

●実習実施日
平成２７年７月２４日(金) １５：３０～
※　冒頭に本企画の説明等を実施しますので、大崎市池月地区公民館（「道の駅」隣接）にお集まり下さい。
●実習場所
宮城県大崎市岩出山池月字下宮道下４番地１
「あ・ら・伊達な道の駅」　　※ 別添位置図参照
●実習主体
石巻専修大学　学生９名
●主な実習内容
「道の駅」来訪者を対象とした聞き取り調査等の実施

発表記者クラブ
宮城県政記者会・仙台市政記者会・東北電力記者会
東北専門記者会・大崎記者クラブ・石巻記者クラブ

問い合わせ先

■連携企画の実施内容について
石巻専修大学　人間学部　人間文化学科　准教授　庄子（しょうじ）　真岐（まき）
住所：宮城県石巻市南境新水戸１番地　電話:0225-22-7716 内線3004

■今回の取り組みについて
「あ・ら・伊達な道の駅」　代表取締役　遠藤（えんどう）　悟（さとる）
住所：宮城県大崎市岩出山池月字下宮道下４番地１　電話:0229-73-2236

■今回の取り組みについて
大崎市　産業経済部　産業政策課長　西條（さいじょう）　勲（いさお）　電話:0229-23-2281

■大学と「道の駅」の交流・連携全般について
国土交通省　東北地方整備局
仙台河川国道事務所　交通対策課長　松本（まつもと）　章（あきら）　電話:022-248-4131(代表)　内線471

「あ・ら・伊達な道の駅」と石巻専修大学の連携

【実施内容】

石巻専修大学の学生が「あ・ら・伊達な道の駅」（重点「道の駅」）において現地調査等を実施し、課題を抽出・整理するとともに、「あ・ら・伊達な道の駅」のポジション（ゲートウェイ型：地域の観光総合窓口機能、インバウンド観光の促進等）を踏まえ、

① **地域情報の発信拠点機能の強化**

② **若者を呼び込む新たな魅力の創出**

③ **外国人観光客への対応**

を重点課題として取り組み、改善策の提案や企画の立案等を行います。

※【連携企画型は東北初となります。】







【石巻専修大学】（所在地：宮城県石巻市）

石巻専修大学は「社会に対する報恩奉仕」を建学の精神として1989年に開学し2015年で創立27年を迎えました。

本学では「実践的な教育」を教育目標に掲げ、様々な分野をより専門的に学べるようコース・履修モデルを導入。さらに、実験・実習やゼミナールなど、教員との「対話」を重視し、少人数教育を行う本学ならではのきめ細かな指導を行っています。また、マルチメディア関連の授業・演習を行うスタジオや自動車工学センター、ピアノを備えた音楽全体練習室などの様々な最新設備を配した施設や、地域を学び場とした実験・実習・フィールドワークを展開。社会で求められている能力や課題を見いだし、将来社会で活躍するためのスキルを磨くことができます。



【あ・ら・伊達な道の駅】（所在地：宮城県大崎市）

地域資源（伊達政宗の史実・文化等）を地域在住外国人や語り部等を活用し、インバウンド観光を促進する観光拠点を構築。

「道の駅」と岩出山地区（町内）・温泉を結ぶ周遊交通を確保し、温泉・地域資源をパッケージ化した独自観光商品を開発・販売。

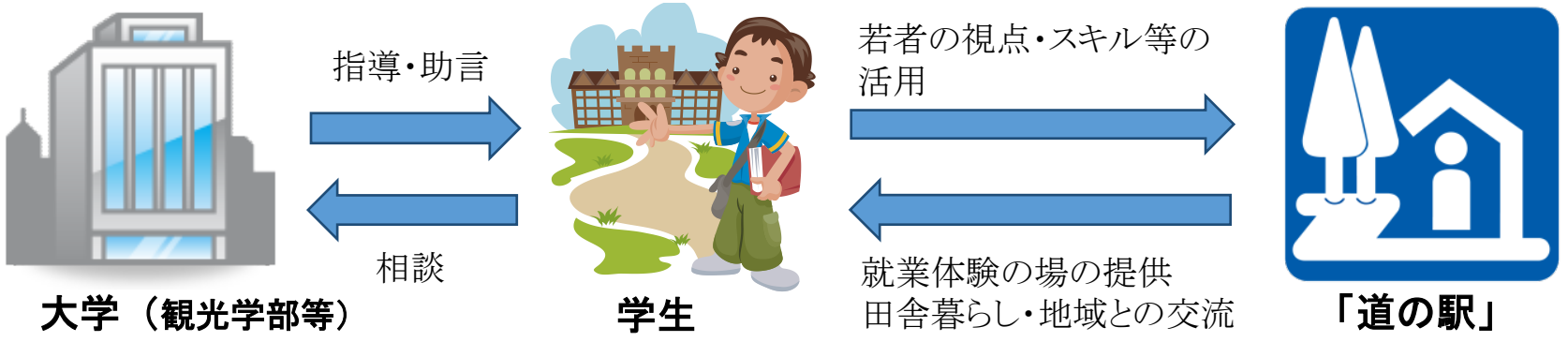
鳴子峡や温泉郷を「見る観光」に、地域の文化・芸能を「知る観光」にそれぞれ位置づけ、一段高いレベルの観光を提供。

平成27年1月 「重点道の駅」選定。

「道の駅」と大学の連携について

○ 「道の駅」における大学との連携、受入体制を整備し、若者の就労体験や交流の場として活用。
○ 地域の魅力の集まる「道の駅」と、観光学等を学ぶ地域外の若者が交流することで、新たな価値の創造を図る。
○ 道の駅と大学のニーズに応じ、「連携企画型」と「就労体験型」の2種類の形で実施

実施イメージ



※全国「道の駅」連絡会で双方のニーズをマッチング

これまでの実施例

＜連携企画型＞

京都府亀岡市、南丹市、京丹波町の道の駅
・京都精華大学の大学生が、道の駅で販売するスイーツパッケージをデザイン


包装デザイン打合せ

「かなん」（大阪府河南町）
・道の駅と大阪府立大学の大学生のコラボによりオリジナル弁当を開発


道の駅弁当「かなん冬の恵み」

＜就労体験型＞

「霧の森」（愛媛県四国中央市）

・地元イベントの企画立案、実施補助のほか、道の駅内で製造されている地元名産品の製造・販売の補助を実施。
・H25年度は10名受け入れ、うち7名は関西圏の大学から参加

・H15からこれまで約110名が実施
・そのうち2名が「道の駅」へ就職


大学生が企画したイベント


地元名産品「霧の森大福」

項　目	連携企画型	就労体験型
概　要	「道の駅」側と大学側でお互いのニーズを確認し、付加価値を創出する企画・立案等を行うもの	「道の駅」の運営業務において、若者の視点、感性やITスキル等を通して新たな行動や発見を期待するもの
内容例	地域巡りツアー企画、商品開発、売場改善　等	イベントの企画・運営、新しい観光資源の発掘 農作業の体験、地元産品を使った商品開発 物産販売の補助、HP等による情報発信の提案・実施　等
期　間	通年の授業の中での通いを想定	概ね2週間以上の長期宿泊型を想定 （夏期休暇期間活用）
受入学生	道の駅近傍の大学を想定	全国の大学を想定
受入人数	ゼミ単位（少人数～10名程度のグループを想定）	数名

＜連携企画型の事例＞※道の駅ではない事例も含む

○ 観光
- ・地域巡りガイド（跡見学園女子大学）
- ・日帰り観光プラン作成（和歌山大学）

○ 商品開発
- ・地元伝統野菜を活用した道の駅弁当（大阪府立大学）
- ・地場産品を活用したお土産品開発（弘前大学）



地域巡りガイドの様子

○ まちづくり・地域活性化
- ・キャンプ場を起点とした地域活性化（和歌山大学）
- ・ご当地キャラクターの発案・活用（大妻女子大学）

出典）各大学ホームページ参照

＜就労体験型の実施スケジュール（イメージ）＞

大学と全国「道の駅」連絡会で基本協定の締結

～3月　「道の駅」の受入概要調整

～5月　学生の派遣希望

全国「道の駅」連絡会によるマッチング

7,8月　就労体験実施

実習会場
「あ･ら･伊達な道の駅」、「大崎市池月地区公民館」位置図



